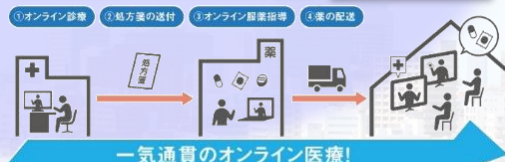
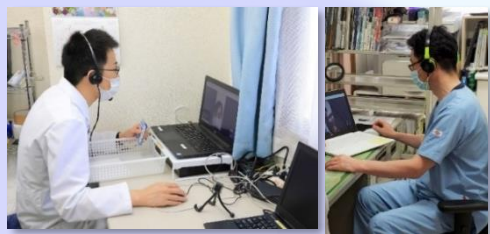


- ▶ 仙台市においても、**高齢化の進行**や**医師の働き方改革**などの動きの中、持続可能な医療提供体制を確保していくかが課題。**受診する側・診療する側双方の負担軽減**に向け、**オンライン診療は重要な手法の一つ**
- ▶ オンライン診療は、H30(2018)年から保険診療として認められたが、算定要件が厳しい等の理由により、積極的に導入する医療機関は全国的に少なく、**仙台市内でもオンライン診療が行われる機会は、極めて少ない状況**（新型コロナウイルス感染症の拡大前）
- ▶ 国家戦略特区として、当時のオンライン診療の要件緩和も検討

R2年度 仙台市医師会×仙台市薬剤師会×仙台市 オンライン診療・オンライン服薬指導実証実験



- ▶ **仙台市医師会・仙台市薬剤師会・仙台市の3者が共同**
- ▶ 仙台市における**一気通貫の「オンライン医療」**の課題の洗い出しや**可能性を検証**
- ▶ 視診のみならず聴診器等に工夫を凝らすなど、オンラインの利点を活かし、今後東北地方において深刻化する**高齢化や医師不足等、医療に係る地域課題の解決**を目指す
 - 2020年7月13日～2021年3月末 ● 仙台市全域
 - 医師8名、薬局8か所 ● 医師1人あたり5～10名
- ▶ **慢性疾患の患者には有用、対面診療と質的な差があるため機器の導入・開発が必要ではないか**

R4年度 仙台市医師会×事業者×東北大学×仙台市 診療カーによるオンライン診療実証実験



- ▶ **仙台市医師会・事業者・東北大学・仙台市が共同**
- ▶ **患者と医療側の双方**がより受け入れやすい、**簡便なオンライン診療**の検証
- ▶ **看護師が搭乗し医療機器を搭載した車両（診療カー）**を用いることで、患者の状態をより正確に把握するなど、**より質の高いオンライン診療の実現**を目指す
 - 2023年2月～3月末 ● 仙台市域内 ● 医師2名